

平成27年度  
ふるさとづくり大賞

受賞者の概要

平成28年1月8日

## 大賞

小原ECOプロジェクト【福井県勝山市】 . . . . . 2

## 優秀賞

島 康子【青森県大間町】 . . . . . 3

## 奨励賞

特定非営利活動法人戸田塩の会【静岡県沼津市】 . . . . . 4

## 団体表彰

一般社団法人ISHINOMAKI2.0【宮城県石巻市】 . . . . . 5

株式会社あきた森の宅配便【秋田県小坂町】 . . . . . 5

群馬県立利根実業高等学校食品文化部【群馬県沼田市】 . . . . . 6

西岬海辺の里づくり協議会【千葉県館山市】 . . . . . 6

株式会社地域新聞社【千葉県船橋市】 . . . . . 7

平瀬川流域まちづくり協議会【神奈川県川崎市】 . . . . . 7

特定非営利活動法人八代地域活性化協議会【富山県氷見市】 . . . . . 8

特定非営利活動法人能登ネットワーク【石川県能登町】 . . . . . 8

小滝区【長野県栄村】 . . . . . 9

一般社団法人kikito【滋賀県東近江市】 . . . . . 9

田根地区・地域づくり協議会【滋賀県長浜市】 . . . . . 10

かみかわ田舎暮らし推進協会【兵庫県神河町】 . . . . . 10

特定非営利活動法人西中国山地自然史研究会【広島県北広島町】 . . . . . 11

特定非営利活動法人新町川を守る会【徳島県徳島市】 . . . . . 11

松山市ことばのちから実行委員会【愛媛県松山市】 . . . . . 12

特定非営利活動法人砂浜美術館【高知県黒潮町】 . . . . . 12

企業組合ごめんシャモ研究会【高知県南国市】 . . . . . 13

唐津街道姪浜まちづくり協議会【福岡県福岡市】 . . . . . 13

## 地方自治体表彰

東京都江戸川区 . . . . . 14

新潟県十日町市 . . . . . 14

福井県鯖江市 . . . . . 15

## 個人表彰

佐藤 恒平【山形県朝日町】 . . . . . 16

近藤 光一【山梨県富士吉田市】 . . . . . 16

宮本 照代【和歌山県那智勝浦町】 . . . . . 17

本田 節【熊本県人吉市】 . . . . . 17

## 試験研究機関表彰

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター . . . . . 18

石川県工業試験場 . . . . . 18

## 小原ECOプロジェクト

福井県勝山市

## 概要

当団体は、小原集落を山村生活体験の拠点とし、都市住民との交流促進による地域活性化、集落文化や生活様式の継承、自然資源の保全・保護を目的に活動。交流人口1,200人/年を目標に、地元大学生など多様な組織・団体・教育機関と連携し、伝統的古民家の修復による景観保全や交流拠点の整備等を通して、交流コミュニティによる地域づくり、観光振興、環境保全を実践している。



## 評価された点

- ・わずかな人数の地域を舞台に外の力を活用して新たなコミュニティをつくりにぎわいにつながっている点が評価できる。今後の展開に注目してみたい。
- ・住民0（ゼロ）となっても、周辺住民、元村民、支援者が知恵を出して地域の未来を拓いていく考え方は、全国の先駆けとしての「集落維持と再生」、そして国土保全事業の雛型事例である。その視点の普遍性と環境活動は世界的にも注目を集め始めており、未来を拓く持続型産業としての活動のあり方は、特に新しい経済の仕組みとしての地域ブランド化を高く評価したい。
- ・限界集落、古民家という課題に焦点をあて地域づくりをしており他地域の同様の課題をもっている地域にとっては参考になる活動である。
- ・限界集落再生モデルとなる事例。急激な変化を創り出すのではなく、地道な取組を10年掛けて実施し、実っている。世界30カ国からのボランティアの受け入れなど、小さな村がグローバルに展開している。
- ・住民がわずかの集落における交流促進のプロジェクト。古民家再生や登山旅行者の利便性の向上、希少種ミチノクフクジュソウの保全活動、エコツアーなどの事業を次々と展開し、年間の入り込み客数1350人、宿泊者数743人などの成果をあげている。中山間地域における地域文化の継承や景観保全などに参考になる、勇気もらえる事例と考える。
- ・人口少数の集落を大学と連携し、古民家を再生させ、交流人口増加のための拠点とし、農林業体験、山菜取り、豪雪体験ツアー、沢登りなど1年を通じた活動が行われている。交流人口が新たなコミュニティとして、賑わいを創出している点は非常に評価できる。
- ・バランスよく様々な世代を巻き込んでいる。シンプルな取り組みですが、ご縁できることで広がりが期待できる。
- ・限界集落を舞台に地域コミュニティを創出し、年間1,000人を超える交流を実現したのは驚きに値する。地域資源を存分に活用したプロジェクトは一つ一つがどれも魅力的で「story」性を感じさせる。世界30カ国からの国際ワークボランティアの受け入れなど世界にも開かれた取組みを進めており、今後の新たな展開にも期待が持てる。



## 島 康子

青森県大間町

## 概要

平成12年、大間町を舞台にしたNHKドラマの放送に合わせ、地元を盛り上げ、地元の魅力を発信するため、まちおこしゲリラ集団・あおぞら組を結成。フェリー客を旗ふりで迎える旗ふりウェルカム活動や5月5日に巨大なマグロのぼりを泳がせるなど、約15年間にわたって地元・大間のまちづくり活動に取り組む。平成26年秋に取得した国内旅行取扱業務管理者の資格を活かし、地域限定の旅行業にもチャレンジ。県内各地区だけでなく、道南地域のまちづくりの第一人者たちと連携して「津軽海峡マグロ女子会」を結成し、海を超えたおもてなしツアーなどを企画立案している。



## 評価された点

- ・ 地域の特産品「マグロ」を先進性、独自性の取り組みで地域活性化につないでいる実績は高く評価できる。
- ・ 彼女の認知度は既に高く、今更ながらの感もあるが、15年間正にパワフルに活動し続ける姿勢は、全国の地域おこしに取り組む者の励みとなる。
- ・ 15年にわたり、大間のマグロを情報発信しつづけたことにより、地域がマグロの町として息づき、観光客増加だけでなく、地域ブランドにも寄与した。
- ・ 地域の特徴を生かしたユニークな取り組みであり、その地ならではの活動といえる。
- ・ 優れたリーダーシップを発揮し、大間町のみならず、青森県全体地域づくりを牽引している。助成金に頼らない、自立した地域活動の模範事例。
- ・ 15年以上の活動実績があり、その内容は独自性が高く、先進的である。被推薦者が企画・販売する個性的なまちづくり商品は全国から人気を集めており、まちづくりの活動資金を継続的に獲得している点でも高く評価できる。
- ・ 発想とパワーに一票。



## 特定非営利活動法人戸田塩の会

静岡県沼津市

## 概要

漁村に住む女性たちにより構成されたNPO法人が地元の歴史ある「伝統の塩の製法」を復活させ、塩でまちおこしをしようと地元有志で立ち上がった。「戸田塩」は、沼津ブランドとして有名になった。現在は、地元の高齢者を雇用し、塩の生産及び販売のみでなく、塩づくり体験学習、環境美化活動、高齢者の憩いの場の運営等、幅広い分野において活躍している。

## 評価された点

- ・地域の女性の活躍で地域資源の活用して付加価値を創出していることが評価できる。企画力と経営力に優れていることがすばらしい。
- ・伝統的な塩の製造方法を復活するだけでなく、女性の収入源となっている経済事業となっていることは評価に値する。
- ・地元の歴史的産物に着目し、高齢者・地元女性の力の活用であらたな商品を生み出すにいたっている。
- ・漁村に住む女性たちにより構成されたNPO法人が地元の歴史ある「伝統の塩の製法」を復活させ、自主財源による安定的な経営を行っており、雇用を促進している点は、女性の社会進出の面からも非常に評価できる。
- ・素晴らしいと思う。塩の文化を紹介するとき、昔の桶を使ったり国の無形文化財になったりしている他のところもあわせて紹介してほしい。
- ・漁業、地域の衰退に危機感を持った女性たちが立ちあがり、日本一の塩づくりによる地域おこしを実現させた。営利目的の企業とは一味違い、様々な地域貢献にも力を入れ、女性たちが”誇りをもって”働ける場を生み出している。行政の補助金を受けず、自主財源による経営を続けており、その経営手腕も高く評価される。



一般社団法人ISHINOMAKI2.0

宮城県石巻市

概要

東日本大震災を経験した石巻というまちを、震災前に戻すのではなく、新しいまちへとバージョンアップさせるために団体を設立。人口流出、コミュニティの希薄化など、震災前から抱えていた問題を解決するため、地域内外の人を結び、既成概念に捉われないまちづくり活動を展開。「石巻STAND UP WEEK」、「2.0不動産」、「いしのまき学校」などの各種取組は、閉鎖的であった地域を開き、被災地石巻の新たな展開を目指している。

評価された点

- ・震災復興の取り組みとして勢いがあることが評価される。人と人をつなぐことや今までと違った新しいことへの挑戦はおもしろい。雇用につながってきていることが何よりだと思う。
- ・地域の課題（震災からの復興）という点において新たな視点から精力的な活動を行っている。
- ・20代、30代の若者が地域づくりを牽引する好事例で、被災地以外の地域でも取り組める事例。
- ・まちを震災前の姿ではなく、新しいまちへとバージョンアップさせるために、地域内外の人を繋ぐ、独創的な取り組みは、震災復興の新たな形として評価できる。また、高校生を対象とした教育プログラムは将来の定住に大きく期待できる。



株式会社あきた森の宅配便

秋田県小坂町

概要

少子高齢化等が全国一進む秋田県であるが、はっきりした四季の変化により自然の恵みがとても豊かである。地元の人々はその価値に気づいていない人も多く、口を揃えて「ここには何も無い」と言う。しかし「ここにしかない価値」もきっとあると思い、地元の高齢者の人たちと一緒に自分たちの得意分野である「山菜採り」を活かして外に向かって生きがいを再び見つけられると考えた取組である。

評価された点

- ・地域の目利きが主体となる活動は、直接その価値を知る人とのマッチングによって、より価値の高まるものとなる。地域に眠る資源を地域の名人によって光を当て、「地域の宝」を直接届ける「里山便」は成長幅の高い地域づくり活動と思われる。
- ・WEBとリアル（山の名人）を上手く組み合わせたユニークな事例。運営を売上で賄う自立性も高い評価。
- ・地元の素材と人財を活かした、winwinのプロジェクト。
- ・新鮮な天然山菜を食べたいと願う消費者と、山菜とりの名人の生きがいをうまくマッチングさせたユニークなプロジェクトである。山間に暮らす高齢者にとってはごく日常の仕事を、誇りの持てる、輝きある仕事に変えるこの取組みは、町おこし、村おこしの材料がないと嘆く他の中山間地域にとっても一つのモデルとなりそうだ。



## 概要

市がB級グルメ研究事業を立ち上げ、特産である枝豆の活用の検討を当学校に依頼。生徒が主体となり、枝豆入りのメンチカツ「えだまメンチ」を開発。えだまメンチ普及のため、生徒達は市内の飲食店に営業を行い、取扱店舗を市内17店舗まで増やしたほか、市や企業と連携し、学校給食提供を実現。加えて県内外のイベントにおいても、生徒達が実演販売し、広くPRに努めている。

## 評価された点

- ・学校教育と地域の特産品開発の成功事例として評価できる。こういった活動は今後の地域づくりに取り組む上で大変重要なことであり全国各地に広がってもらいたいと思う。
- ・行政と高校の取組が、市内の事業者や小中学生へと連携が広がり、市を代表する事例への進化を評価。
- ・生徒が主体となり。地元の特産である枝豆を活用した新たな商品を開発し、地元のお店を動かしたり、市や企業と連携して市内小中学校の学校給食提供をし、地産地消に寄与している点は大いに評価できる。また、高校の魅力化による地域活性化は今後のふるさとづくりにおいて重要な点である。
- ・高校生の取り組みを、まち全体で応援し若者のチャレンジを支えている姿が背景に見える。高校生世代を地域で多様な活動を展開することは非常に重要であり、表彰に値する。



## 概要

集落に1軒残る茅葺き民家を、大学の建築まちづくり研究室と地元コミュニティが一緒になって、5年かけて葺き替えた。毎年、10人程度の学生が泊まり込んで、茅葺き民家ゴンジロウの屋根を葺き替えてきた。留学生も参加している。2013年に廃屋の炊き場をコミュニティキッチンにし、2015年に主屋の台所を土間に戻した。ゆっくり変わり続けるゴンジロウが活動の輪を広げている。

## 評価された点

- ・地元大学が継続して地域と取り組んだ事例であり、急がずゆっくり成果を出してきたことは今後のまちづくりに、大きな参考となる。
- ・集落と大学の連携が年々深まり、研究室OBのIターンや留学生との交流に進化している。キーワードの「ゆっくり」は全国各地の風土と親和性が高く、参考になると考えられる。
- ・「古民家をゆっくり改修し続け」ながらの地域づくりに大いに共感。
- ・この動きをもっと全国的に広げて、茅場や葦場やエコの知恵につなげてほしい。大切な観光資源。

